

市民委員会 資料

〔港湾局〕

1：港湾局理事者名簿

2：港湾局組織図（平成27年4月1日現在）

3：事業概要

港湾局理事者名簿

平成27年4月1日現在

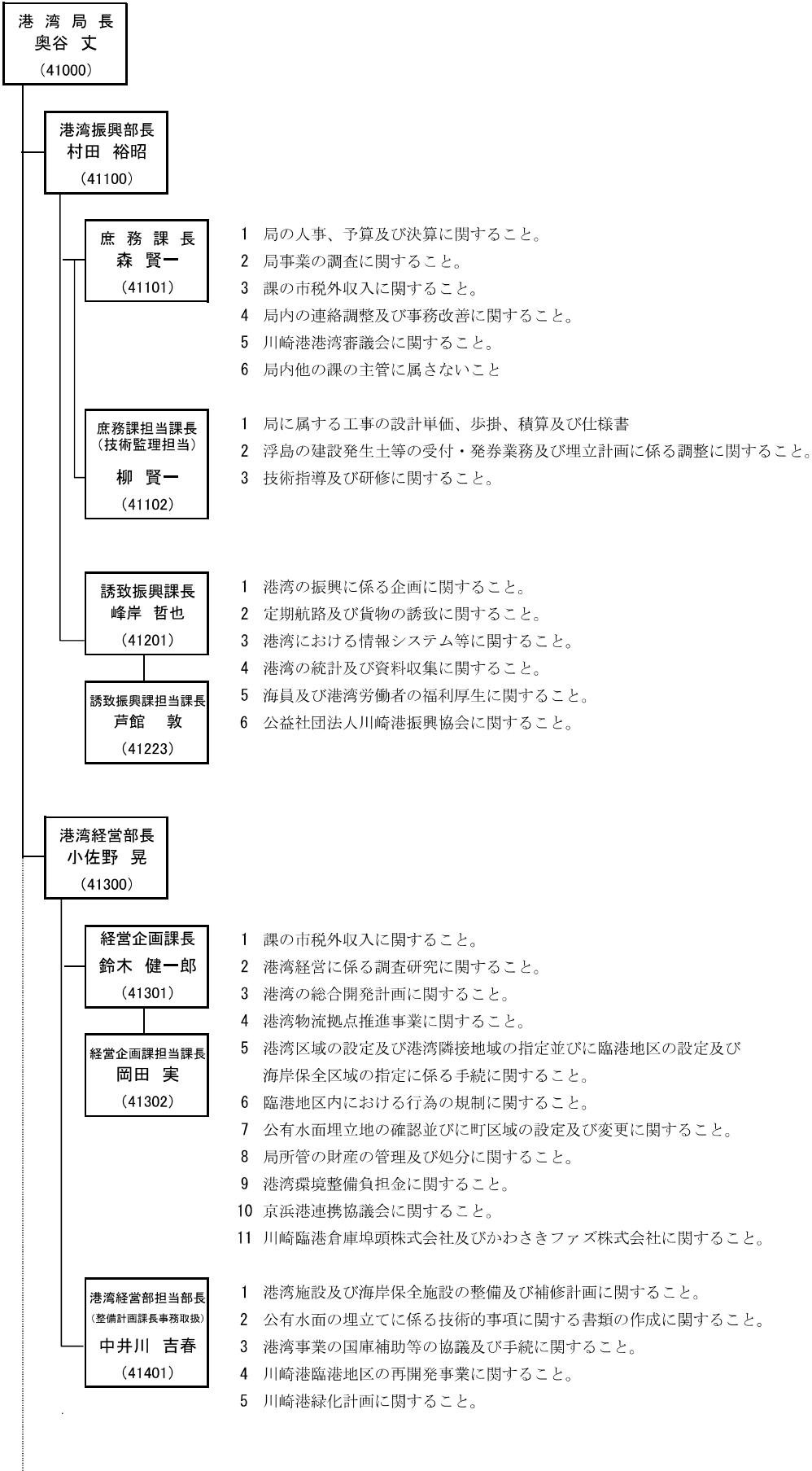
No	役 職 名		氏 名	ふ り が な
1	港湾局長		奥 谷 丈	おくたに たけし
2	港湾振興部長		村 田 裕 昭	むらた ひろあき
3	港湾経営部長		小 佐 野 晃	こさの あきら
4	港湾経営部担当部長 (整備計画課長事務取扱)		中 井 川 吉 春	なかいがわ よしはる
5	川崎港管理センター所長		風 巻 正 昭	かざまき まさあき
6	川崎港管理センター副所長		小 野 友 雄	おの ともお
7	港湾振興部	庶務課長	森 賢 一	もり けんいち
8	港湾振興部	庶務課 担当課長 (技術監理担当)	柳 賢 一	やなぎ けんいち
9	港湾振興部	誘致振興課長	峰 岸 哲 也	みねぎし てつや
10	港湾振興部	誘致振興課 担当課長	芦 館 敦	あしだて あつし
11	港湾経営部	経営企画課長	鈴 木 健 一 郎	すずき けんいちろう
12	港湾経営部	経営企画課 担当課長	岡 田 実	おかだ みのる
13	川崎港管理センター	港湾管理課長	平 川 典 秀	ひらかわ のりひで
14	川崎港管理センター	港営課長	城 後 健	じょうご たけし
15	川崎港管理センター	港営課 担当課長	樋 口 昌 夫	ひぐち まさお
16	川崎港管理センター	整備課長	佐々木 博 英	ささき ひろひで
17	川崎港管理センター	整備課 担当課長	小 松 正	こまつ ただし
18	川崎港管理センター	設備課長	山 崎 敏 広	やまざき としひろ

※網掛けになっている者が今回出席している理事者です。

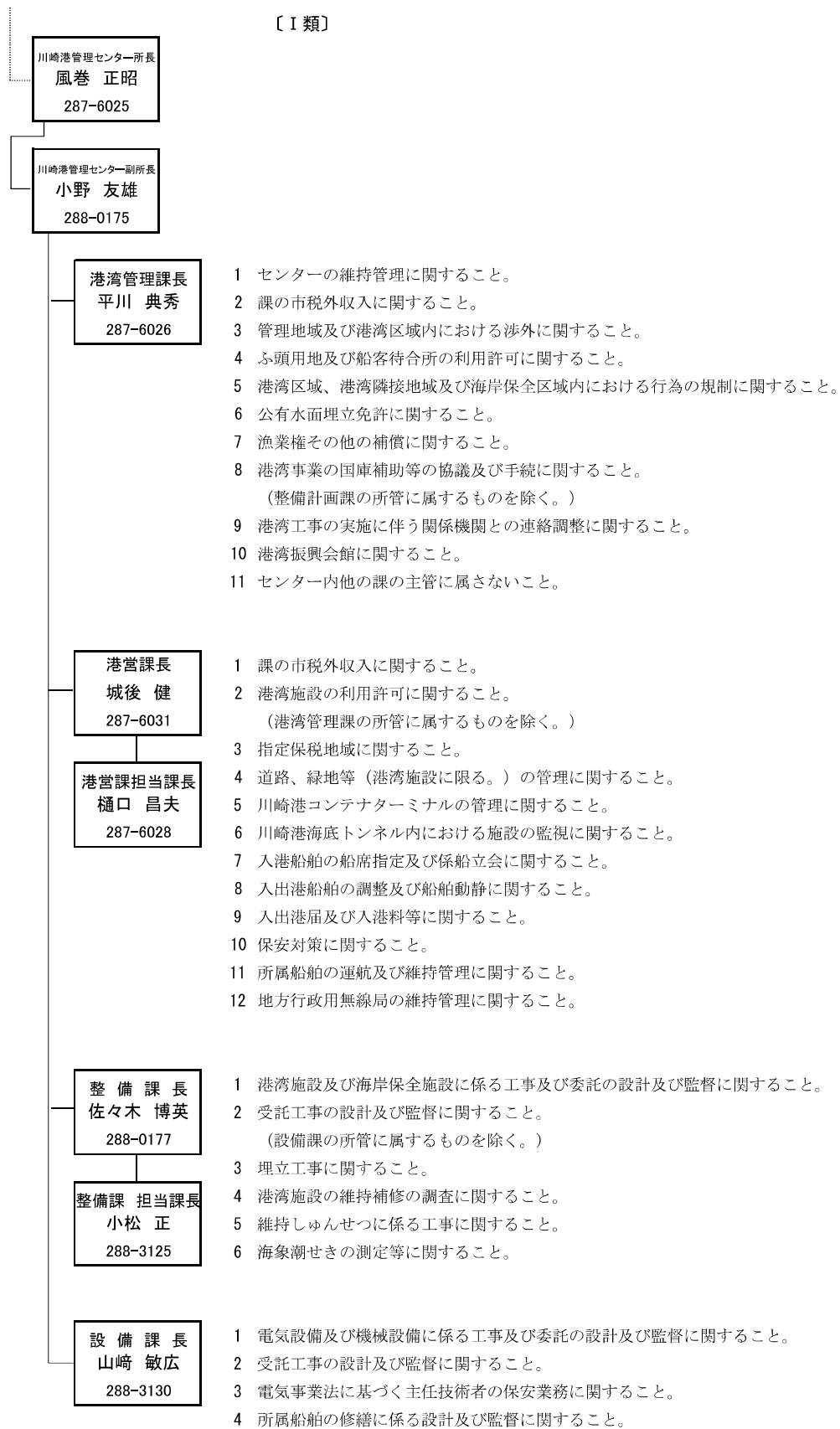
議会担当者

	港湾振興部	庶務課庶務係長	加 島 晃	かしま あきら
	港湾振興部	庶務課庶務係	小 澤 篤 史	おざわ あつし
	港湾振興部	庶務課庶務係	高 野 哲 二	たかの てつじ

港湾局組織図（平成27年4月1日現在）



港湾局組織図（平成27年4月1日現在）



An aerial photograph of Kawasaki City, Japan, showing the Sagami River and surrounding urban areas. Mount Fuji is visible in the distance under a clear blue sky.

事業概要

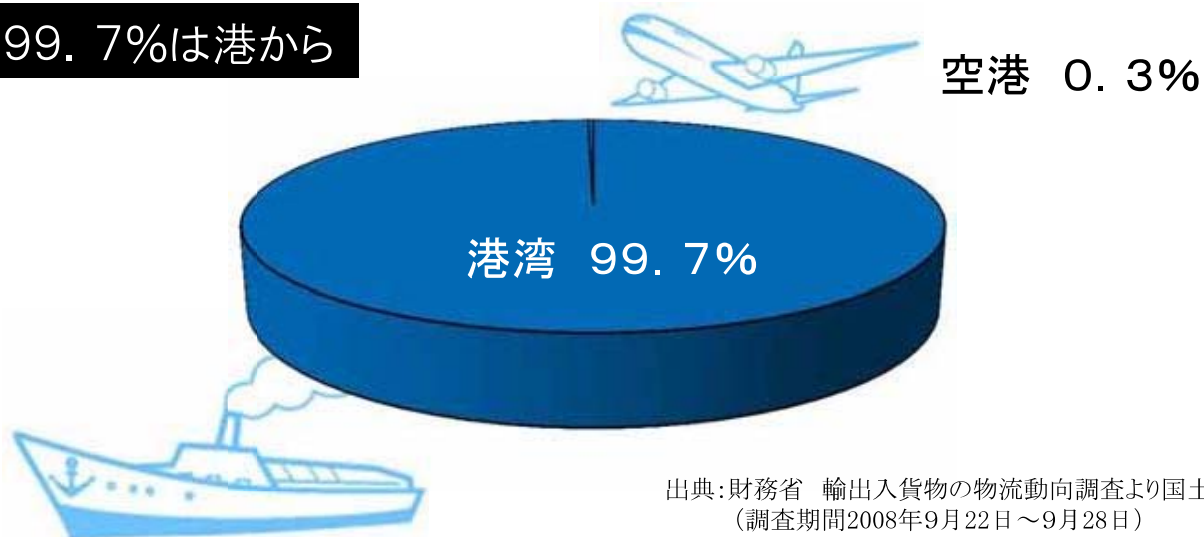
平成27年 6月

川崎市 港湾局

港の役割

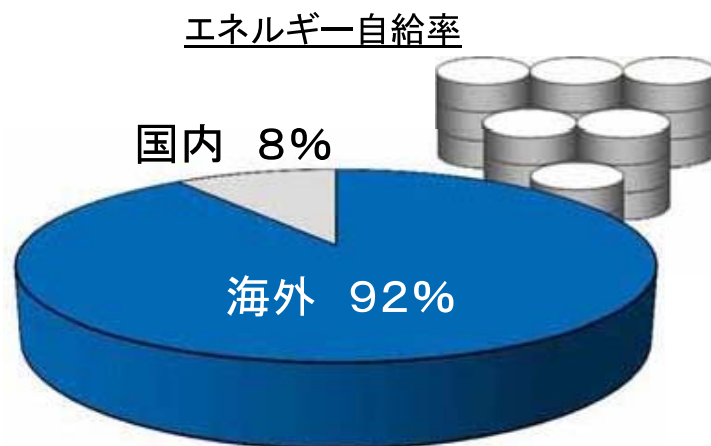


輸出入貨物の99.7%は港から



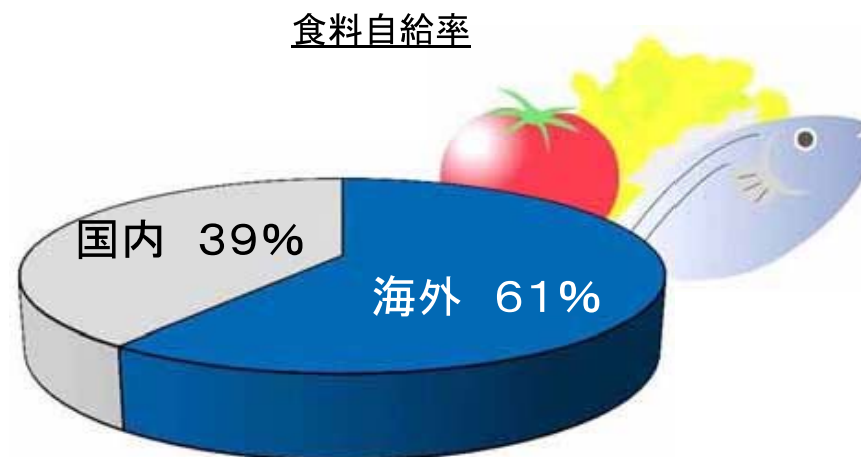
出典:財務省 輸出入貨物の物流動向調査より国土交通省港湾局計画課作成
(調査期間2008年9月22日～9月28日)
※重量ベース

エネルギーのおよそ9割が海外から



出典:資源エネルギー庁
「2013年度エネルギーバランス表(速報)」 ※熱量ベース

食料のおよそ6割は海外から



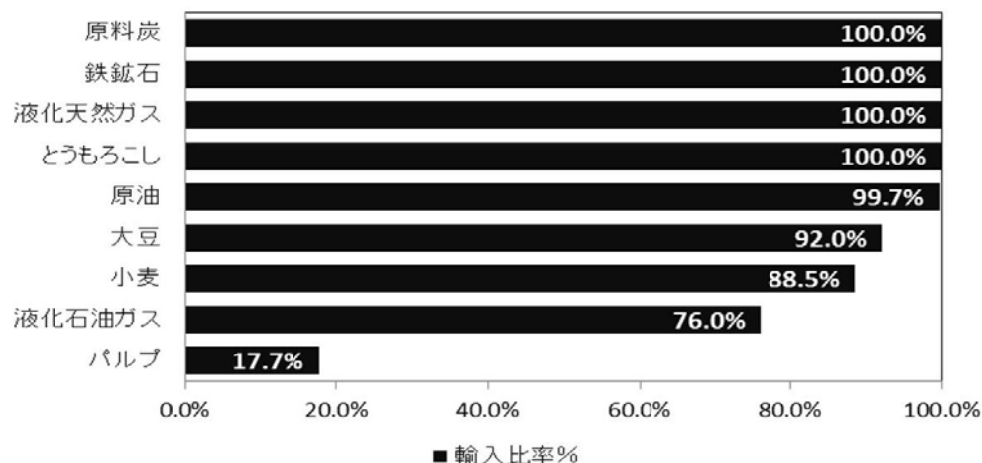
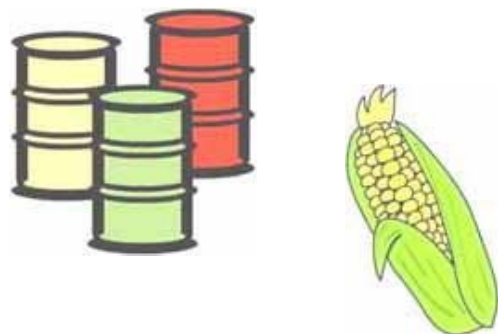
出典:農林水産省「食料需給表(平成25年度版)概要」
※熱量ベース

港の役割



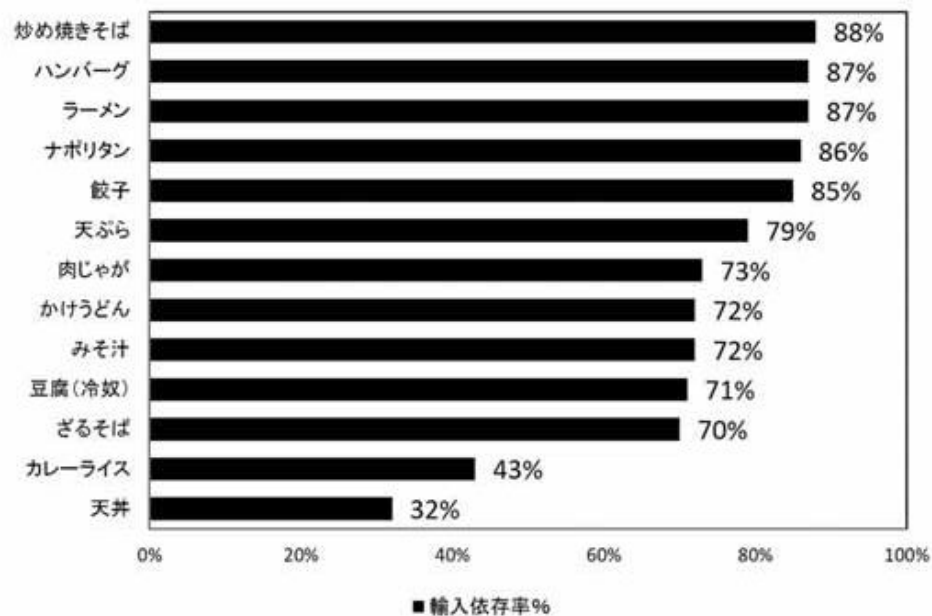
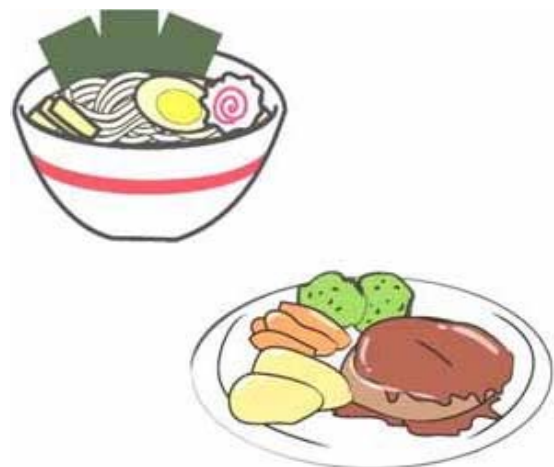
海外に依存する原材料

主要商品の輸入比率（重量ベース）



日常生活と港湾

献立の素材が輸入されている割合



出典：経済産業省「エネルギーバランス表（2012年度）」
港湾局にて農林水産省「料理自給率計算ソフト」（平成25年度）を使って作成

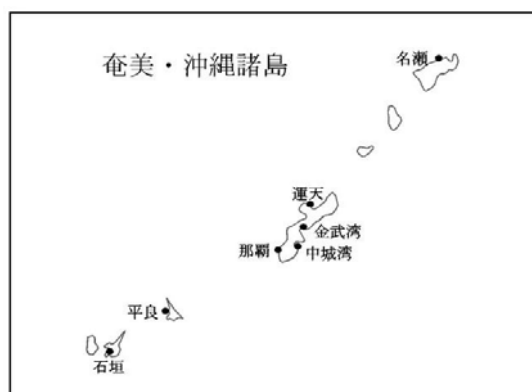
日本の港湾



区 分	総数	港 湾 管 理 者					都道府県 知 事
		都道府県	市町村	港務局	一部事 務組合	計	
国際戦略港湾	5	1	4	0	0	5	—
国際拠点港湾	18	11	4	0	3	18	—
重 要 港 湾	102	82	16	1	3	102	—
(うち避難港)	(35)	(29)	(6)	(0)	(0)	(35)	—
地 方 港 湾	808	504	304	0	0	808	—
(うち避難港)	(35)	(29)	(6)	(0)	(0)	(35)	—
計	933	598	328	1	6	933	—
56 条 港 湾	61	—	—	—	—	—	61
合 計	994	598	328	1	6	933	61

平成26年4月1日現在

(注) 東京都の洞輪沢港は避難港指定を受けているが、管理者未設定であり、かつ56条港湾ではないので本表より除く。
(注) 漁港は含まない



□	国際戦略港湾 (5港)
◎	国際拠点港湾 (18港)
●	重要港湾 (103港)



【国際戦略港湾とは】

国際戦略港湾は、国際競争力の強化を重点的に図る必要がある港湾で、国内では、東京港、横浜港、川崎港、大阪港、神戸港の5港が指定されています。

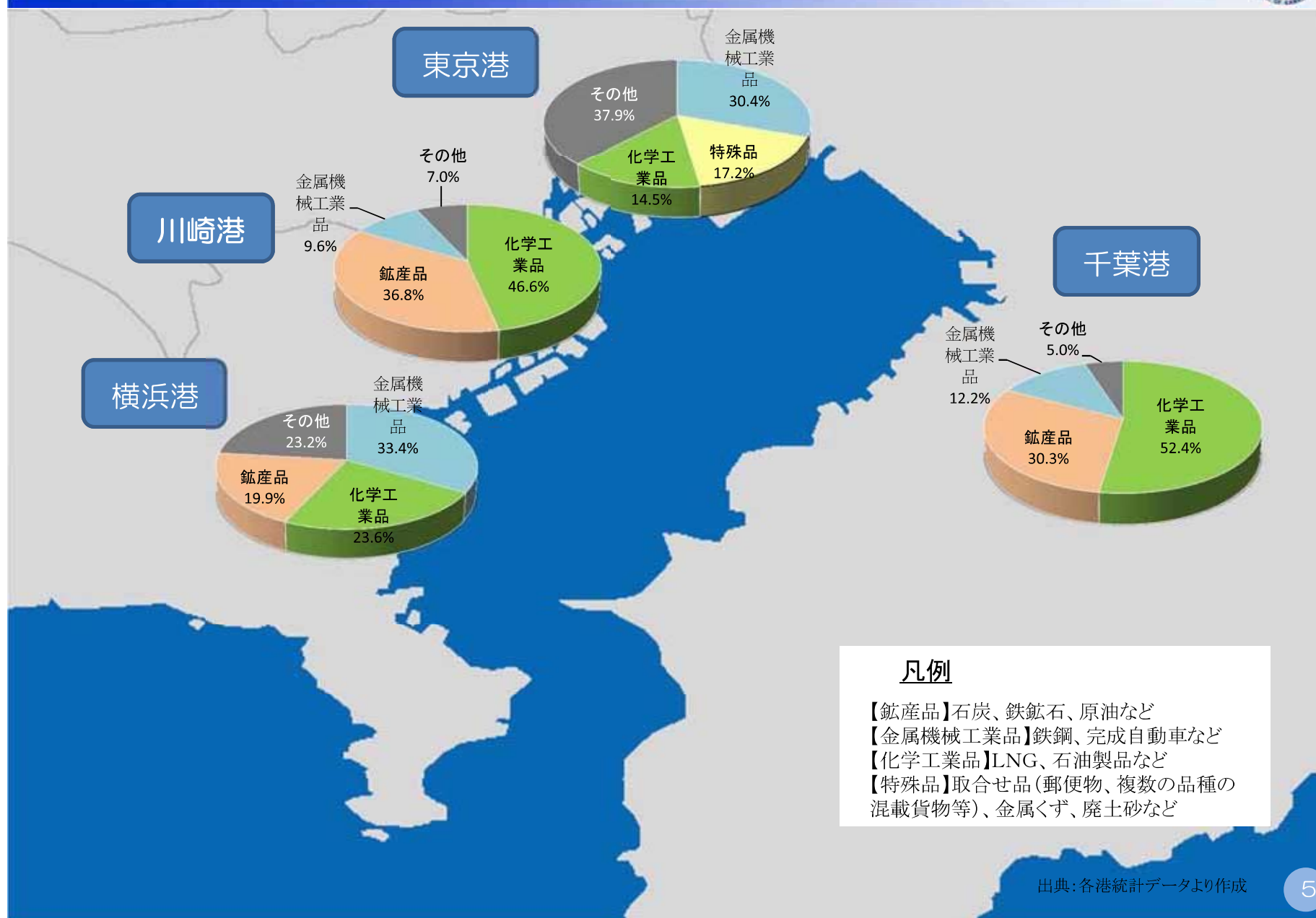
川崎港の位置



■ 主な高速道路（インターチェンジ間）の距離

起点インターチェンジ	終点インターチェンジ	距離
東扇島（川崎港）から	宇都宮（栃木県）まで	158.2km
	前橋（群馬県）まで	147.2km
	水戸（茨城県）まで	129.2km
	甲府昭和（山梨県）まで	152.7km
	湾岸千葉（千葉県）まで	74.3km
	大井南（東京都）まで	14.3km
	本牧ふ頭（神奈川県）まで	11.1km

川崎港の特色



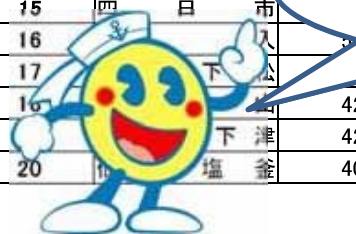
川崎港の取扱貨物



港湾取扱貨物量ランキング(2013年上位20港)

(単位:千トン)

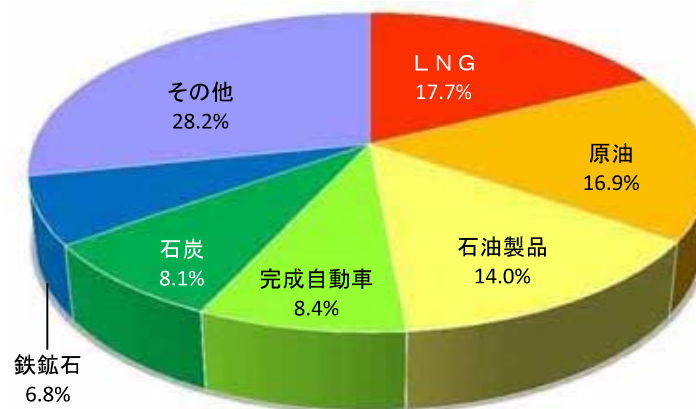
順位	港名	称	合計	輸出	輸入	内貿
1	名古屋	屋	208,241	57,982	82,630	67,629
2	千葉	葉	150,944	9,017	82,606	59,321
3	横浜	浜	119,171	31,463	42,945	44,763
4	苫小牧	牧	103,744	1,017	16,563	86,164
5	北九州	州	100,527	7,526	26,190	66,811
6	川崎	崎	89,612	10,985	49,622	29,006
7	神戸	戸	88,353	21,618	27,318	39,417
8	大阪	阪	86,977	8,980	27,499	50,497
9	東京	京	86,032	13,147	35,348	37,538
10	水島	島	84,517	9,157	44,548	30,813
11	木更津	津	73,618	5,064	48,667	19,887
12	堺泉北	北	71,791			41,988
13	大分	分				
14	鹿児島	島				
15	四日市	市				
16	下松	松				
17	下津	津				
18	下松	松	42,517	7,582	26,386	8,549
19	下津	津	42,050	5,324	19,612	17,115
20	塩釜	釜	40,973	1,820	8,795	30,358



川崎港の取扱貨物量
(2013年)は **全国第6位**

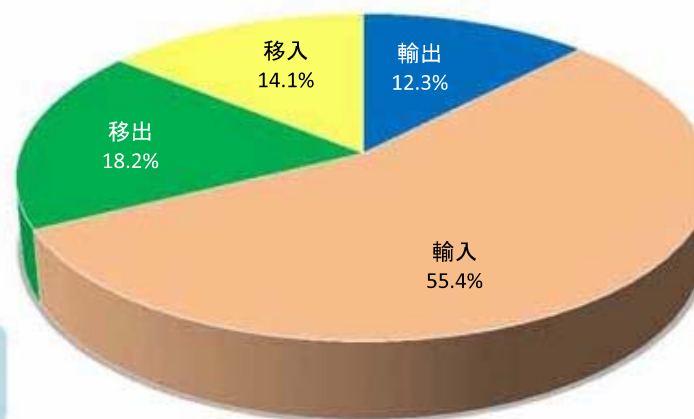
出典:港湾統計年報(国土交通省)

取扱貨物の種類



出典:川崎港統計年報(2013年)

出入貨物の割合



出典:川崎港統計年報(2013年)

貿易額

輸出額4年連続の増加・輸入額2年ぶりの増加

輸出額 1兆6,547億6百万円 対前年比 128.3%
 輸入額 3兆1,521億49百万円 対前年比 123.8%

出典:川崎税関支署「川崎港貿易概況」

川崎港と世界のむすびつき



輸出

(単位: 千トン、%)

品種	2013年		主な輸出先		
	数量	構成比	1	2	3
完成自動車	4,747	43.2	アメリカ (57.7%)	アラブ首長国 (10.9%)	シンガポール (8.3%)
石油製品	2,097	19.1	オーストラリア (45.2%)	中国(香港) (20.8%)	シンガポール (9.3%)
化学薬品	1,440	13.1	中国 (56.6%)	韓国 (24.7%)	中国(台湾) (12.4%)
重油	1,073	9.8	中国(香港) (66.0%)	シンガポール (21.3%)	中国 (12.0%)
金属くず	825	7.5	韓国 (60.9%)	中国 (27.7%)	ベトナム (7.1%)
その他	803	7.3	-	-	-
総合計	10,985	100.0	-	-	-

輸入

(単位: 千トン、%)

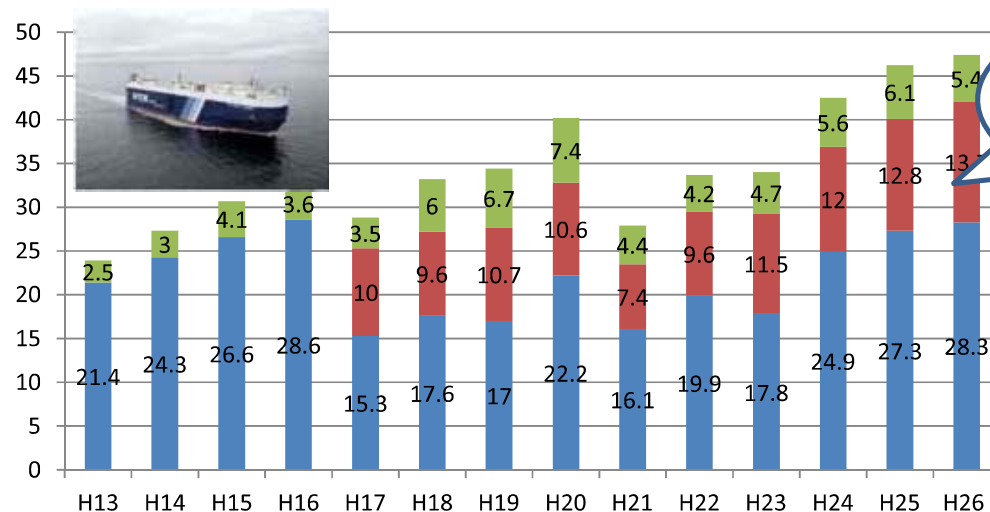
品種	2013年		主な輸入先		
	数量	構成比	1	2	3
L N G	15,818	31.9	アラブ首長国 (48.4%)	ロシア (9.9%)	マレーシア (8.8%)
原油	15,166	30.6	アラブ首長国 (30.0%)	カタール (26.1%)	サウジアラビア (15.9%)
鉄鉱石	6,058	12.2	オーストラリア (62.2%)	ブラジル (24.4%)	南アフリカ (7.6%)
石炭	5,901	11.9	オーストラリア (66.4%)	ロシア (11.1%)	インドネシア (8.9%)
石油製品	1,834	3.7	韓国 (42.7%)	インド (18.3%)	ロシア (8.9%)
その他	4,843	9.8	-	-	-
総合計	49,622	100.0	-	-	-

自動車輸出に強みのある川崎港



■川崎港における自動車輸出台数の推移（2001～2014）

（単位：万台）



中古乗用車の輸出は
3年連続で
過去最高を更新



千鳥町公共ふ頭（中古車のストックヤード）



東扇島公共ふ頭（岸壁からの自動車輸出）

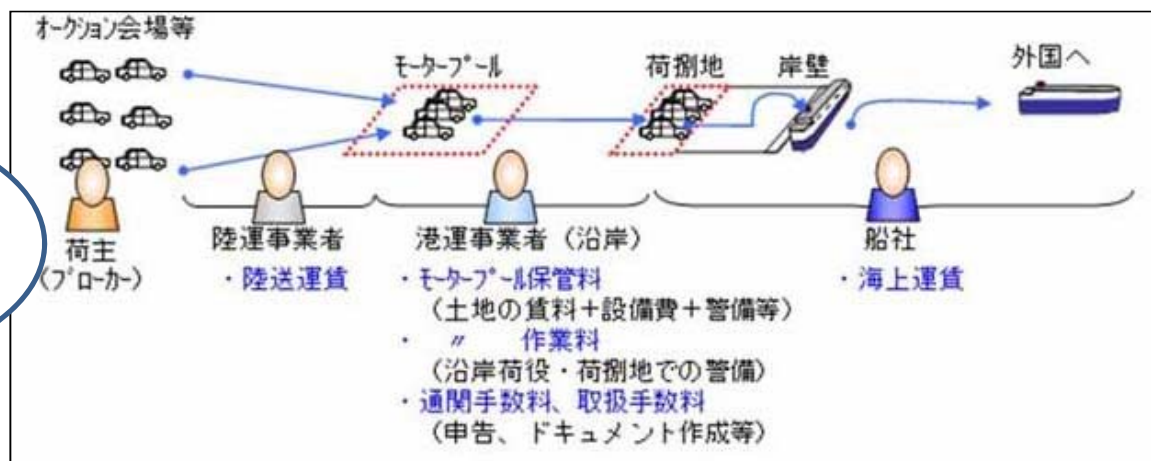
注：乗用車の台数について、H13からH16は中古車台数込み、H17以降は中古車台数を差し引いた数
出典：貿易統計より作成

平成25年（暦年）の
実績で年間約67億円
の経済波及効果

自動車船1隻あたりの
経済波及効果は
約2,640万円！



◆自動車(中古車)輸出の主な流れ



東扇島総合物流拠点地区



○川崎港コンテナターミナル背後地（約23ha）を「東扇島総合物流拠点地区」と位置付け、コンテナターミナルと近接している特色を最大限に活かした高機能物流拠点の形成を図ってきました。

○平成19年度に公募した第1期地区に4企業、平成22年度に公募した第2期地区に5企業が事業を展開しています。

第1期地区進出企業

事業者：株式会社ヨコロジ
事業内容：中古自動車輸出
事業開始：平成21年7月
延床面積：約16,000㎡

事業者：POSCO-JEPC株式会社
事業内容：鋼材の輸入・加工
事業開始：平成20年9月
延床面積：約13,000㎡

事業者：株式会社ニチレイロジグループ本社
事業内容：冷凍食品等の輸入・集配
事業開始：平成23年2月
延床面積：約71,000㎡

事業者：山九株式会社
事業内容：雑貨・食品等の輸出入・集配
事業開始：平成22年1月
延床面積：約110,000㎡

第2期地区進出企業

事業者：株式会社マルハニチロ物流
事業内容：冷凍食品等の輸入・集配
事業開始：平成26年2月
延床面積：約23,000㎡

事業者：山手冷蔵株式会社
事業内容：冷凍食品等の輸入・集配
事業開始：平成25年5月
延床面積：約20,000㎡

事業者：株式会社松岡
事業内容：冷凍食品等の輸入・集配
事業開始：平成25年2月
延床面積：約52,000㎡

事業者：日本郵便株式会社
事業内容：国際郵便・国内郵便
事業開始：平成25年5月
延床面積：約55,000㎡

事業者：荒井商事株式会社
事業内容：中古自動車オークション・輸出
事業開始：平成23年4月
延床面積：約10,000㎡



第1期地区
第2期地区

<位置図>



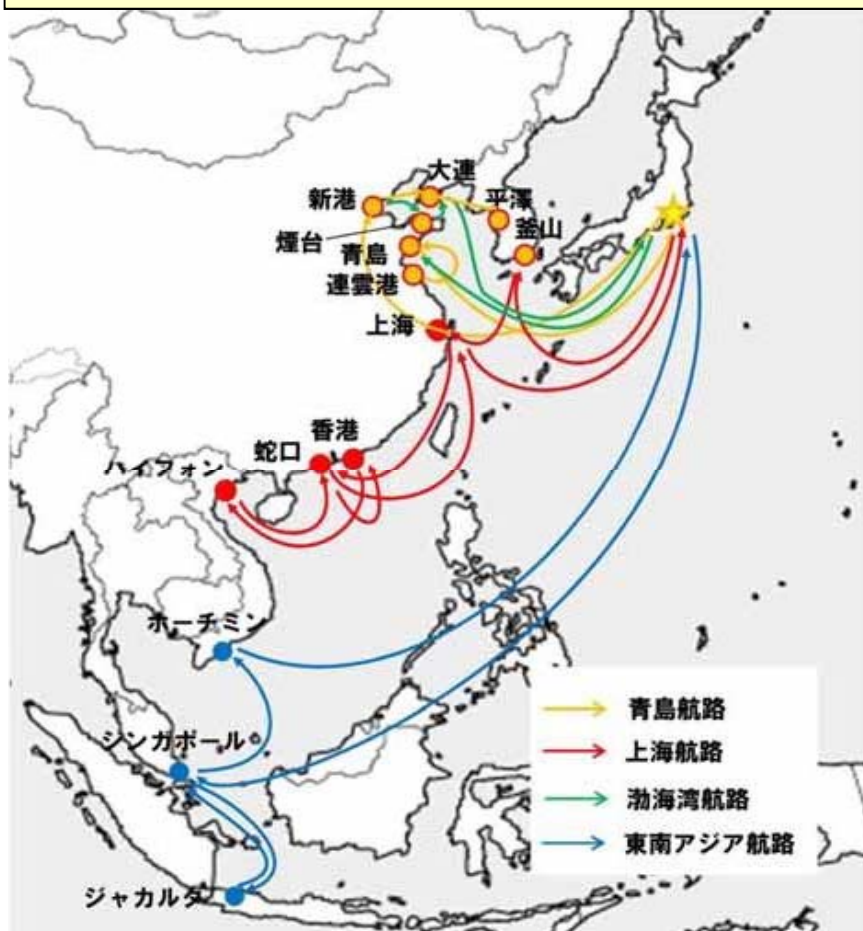
新規航路の開設とコンテナ貨物取扱量の増加



○川崎港の振興、発展のため、国内外の荷主や船社に対して積極的な誘致活動を行っています。

○平成24年度に青島港との定期航路など3航路が新規開設されました(その後2航路は合併)。さらに平成26年には大連港などと結ぶ新たな航路も開設し、平成26年度のコンテナ取扱量も目標値である約6万8千TEUを達成できる見込みです。

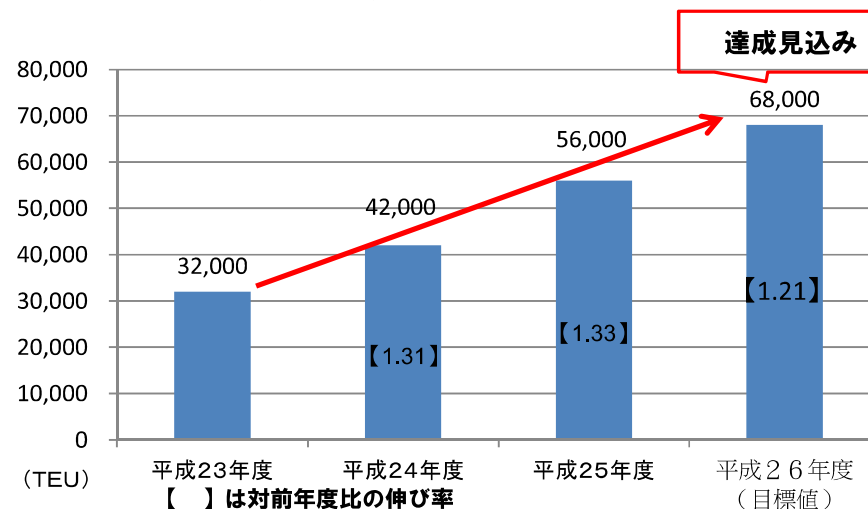
今後増大するアジアの輸入貨物の取扱拠点機能を担う



新規コンテナ定期航路開設歓迎式典



市長によるトップセールス



コンテナ貨物量の推移

平成25年（暦年）の実績で約35億円の経済波及効果

京浜三港連携



三港連携の目的と取組課題

目 的：京浜三港（東京港、川崎港、横浜港）の国際競争力の強化

取組課題：（平成20年3月21日基本合意書）

①	港湾コスト低減による国際競争力の強化	④	東京湾全体を視野に入れた合理的かつ効果的な、施設及び機能の配置
②	港湾利用手続きの統一化、簡素化による利便性の向上	⑤	環境対策、水上交通網形成、震災対策など広域的課題への対応
③	内貿振興、内陸部の物流体系を踏まえた国内ハブ機能の強化	⑥	国制度の改善、国からの重点投資の確保

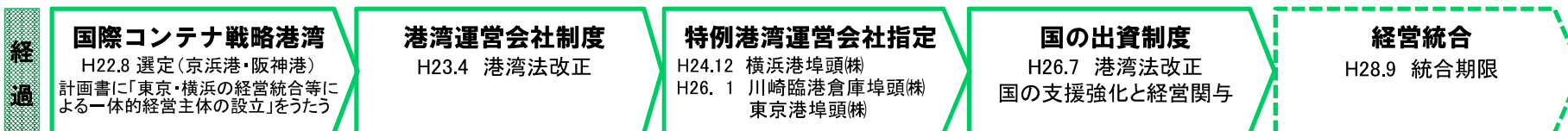
これまでの取組

- 〔体 制〕
 - 京浜港広域連携推進会議の設置（平成20年9月）
 - 京浜港連携協議会の設置（平成21年12月）
- 〔ポートセールス〕
 - 首長によるトップセールスの実施
 - 京浜港利用促進セミナーの開催
- 〔施 策〕
 - 京浜三港と八戸港の連携に関する協定（平成21年6月）
 - 京浜三港と仙台塩釜港の連携に関する協定（平成23年1月）
 - はしけ輸送の拡大
 - コンテナ船入港料の一元化
 - コンテナ貨物補助制度の実施（平成23年11月～）
（コンテナ貨物の新規取扱、取扱量の増加、海外諸港からの転換等に対する補助）
 - 国際コンテナ戦略港湾京浜港を活用した地域再生計画（平成24年6月～）（地域再生支援利子補給金 5社利用）
- 〔共同ビジョン〕
 - 「京浜港共同ビジョン」公表（平成22年2月10日）
- 〔国際戦略港湾〕
 - 「国際コンテナ戦略港湾」に京浜港を選定（平成22年8月6日）
 - 「特例港湾運営会社」指定（平成26年1月8日）
- 〔総合計画〕
 - 「京浜港の総合的な計画」公表（平成23年9月9日）
 - 「京浜港の総合的な計画」に基づく各港の港湾計画の改訂（平成26年11月）

今後の取組

- 〔経営統合〕
 - 京浜三港の特例港湾運営会社の経営統合のあり方の検討
- 〔施 策〕
 - 三港連携による貨物集荷策の充実化
 - 横浜川崎区の強制水先の規制緩和
- 〔国際戦略港湾〕
 - 「国際コンテナ戦略港湾」計画書に基づく施設・機能の強化

京浜三港による港湾運営会社の設立



■港湾運営会社

制度の概要

国際戦略港湾の京浜港においては、京浜港で一つの株式会社を指定し、一体的かつ効率的な運営を行う。ただし、統合までの暫定措置として、各港の特例港湾運営会社に指定された埠頭会社が運営できる。

- メリット**
- 行政財産(市有・国有)の貸付
 - 無利子貸付制度の拡充
 - 税制優遇措置
 - 国による集貨・創貨支援制度の活用 など

経営統合に対する国の意向

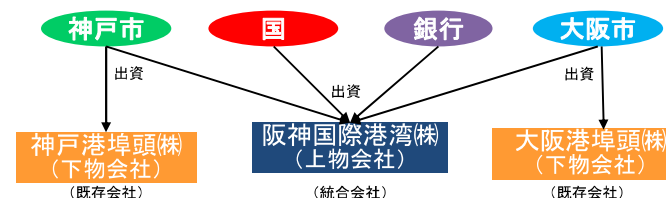
- 統合形態**
単純合併又は上下分離
- 国の出資**
統合会社に出資し、議決権の1/3超を確保 ※阪神港は5億円
- 施設貸付**
港湾運営会社が料金決定権を保持し、ユーザーへ直接貸付

(参考) 阪神港の経営統合

阪神国際港湾株式会社

設立日 平成26年10月1日 (H27予定前倒し)
資本金 7億3千万円、資本準備金 7億3千万円
株主構成 国 34.2%、神戸市・大阪市各30.8%、その他 4.2%

阪神港型上下分離



上物会社
・下物会社から施設を賃借しユーザーに転貸
・集荷施策、営業活動
・今後の上物施設の整備

下物会社
・保有資産の上物会社への転貸
・保有資産の維持
・既存債務の償還

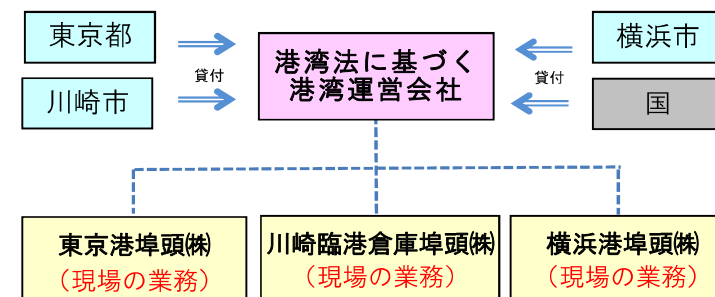
■検討状況

- それぞれの港がその歴史や特性を踏まえた取組を推進することで、多様なサービスを提供し国際競争力を強化
- 背後のまちづくりや産業政策など自治体による大都市経営や臨港地区との一体性を踏まえた港湾運営を実施
- これまで培ってきた港湾関係者との信頼関係を活かし、荷主などのニーズを適切にふまえた利用者サービスをタイムリーに提供

既存埠頭会社の活用による地域性を尊重した京浜港に相応しい体制の構築が不可欠

京浜港型の上下分離方式等による港湾運営会社の設立を検討中

<京浜港型上下分離方式のイメージ>



川崎港港湾計画

港湾計画とは

◆港湾計画とは

- ▶ 港湾空間（陸域・水域）において、開発、利用及び保全を行なうにあたっての指針となる基本的な計画
- ▶ 概ね10～15年先を目標年次として策定するもの
- ▶ 港湾法第3条の3に規定されている法定計画で、港湾管理者に策定が義務付けられている

港湾計画の方針

◆目標年次：平成30年代後半

京浜3港の連携強化により、首都圏の産業の競争力を高め、産業・雇用・暮らしを守り発展させることを目指して、“産業活動を支え、地域経済や市民生活の安定・向上に貢献する川崎港”を実現するため、以下の方針のもと、港湾計画を改訂する。

【産業・物流機能】 港湾機能の再編・拡充による物流機能の強化

- ① 外内貿コンテナ貨物の増加に対応するため、外内貿コンテナ機能の強化及びターミナルの拡張を図る。
- ② 増加する自動車関連貨物に対応するため、用地の拡張等により取扱機能の強化を図る。
- ③ 既存埠頭の再編・集約化により、バルク貨物の取扱機能の強化を図る。
- ④ 港湾と背後地域との連携強化を図るとともに、港湾内の円滑な交通を確保するため、臨港交通体系の充実を図る。
- ⑤ 安全で安心なポートサービス体制を確保するとともに、ポートサービス船等の安全かつ効率的な利用を図るため、小型船だまりの機能の強化を図る

【防災機能】 大規模地震発生時の支援機能の強化

- ① 大規模地震発生時における広域的な緊急物資輸送及び企業の経済活動を支えるため、大規模地震対策の強化を図る。
- ② 大規模地震発生時における帰宅困難者に対応するため、小型船だまり整備による海上輸送ネットワークの機能の強化を図る。

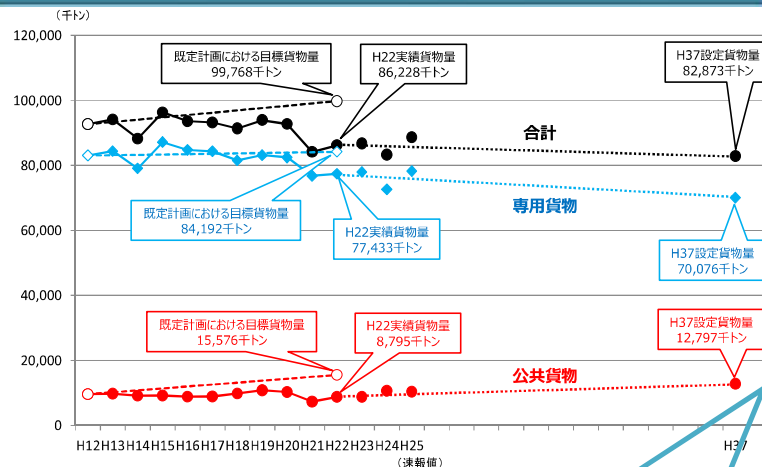
【エネルギー機能】 エネルギー供給機能の維持・支援

- ① 首都圏の生産活動や市民生活を支えるため、既存機能の維持・支援を図る。

【環境・交流機能】 港湾空間の特色を活かしたアメニティ空間の充実

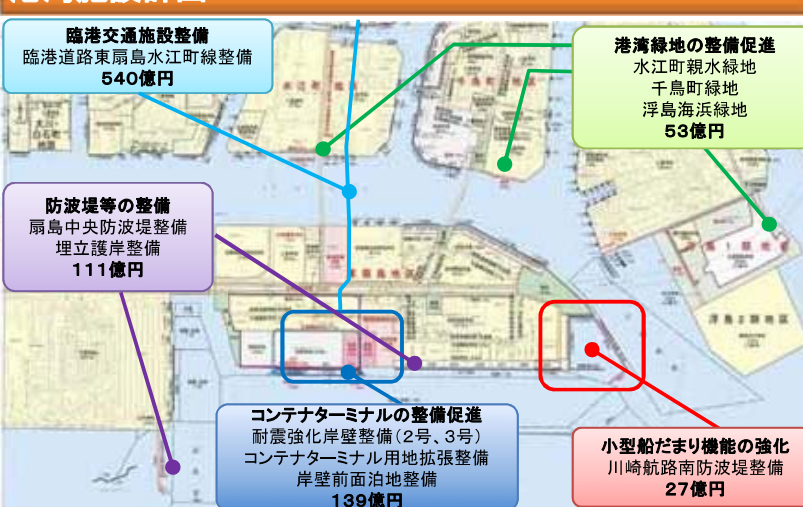
- ① 快適な港湾環境を創造するため、地域住民が海に親しむことのできる開放的な親水空間の創出を図る。
- ② 建設発生土等を適正に処分する海面処分場を確保するとともに、自然環境と共生する港づくりに取り組む。

川崎港取扱貨物量の見通し



	基準値 【H22年実績値】	目標値 【H30年代後半】
公共全体 貨物量	880万トン	1,280万トン
うちコンテナ 貨物量	29万トン	452万トン
コンテナ 個数	3万TEU	40万TEU

港湾施設計画



臨港道路東扇島水江町線



事業概要



- ・整備箇所：川崎港 東扇島～水江町
- ・整備施設：臨港道路 延長約3.0km
- ・事業期間：H21年度～H30年度
- ・事業主体：国土交通省 関東地方整備局
- ・道路規格：第4種第1級 往復4車線

・平時には、増大する港湾物流における交通ネットワークの拡充、災害時には、緊急物資の輸送ならびに東扇島島内の就労者の垂直避難先として、また、安全が確認された後の避難路として資する橋梁形式の道路を整備するものである。なお、平成27年度は、主橋梁下部工、仮設工、船舶航行安全委員会、用地補償等を実施予定。

臨港道路の改良

・臨港道路東扇島水江町線の整備及び東扇島総合物流拠点地区への企業進出に伴い、コンテナ貨物や交通量増加に対応した円滑な交通動線の確保を図るため、東扇島内臨港道路の拡幅を行う。また、水江町側の交差点改良等のための設計を行う。

東扇島内道路の渋滞対策

・島内の渋滞解消に向けて道路管理者や交通管理者と調整を行い3月に交通管理者において、信号現示の変更がなされた。今後の渋滞状況を見極めながら、引き続き、道路管理者や交通管理者と調整していきます。

安全安心への対応



東扇島地区基幹的広域防災拠点における訓練について



川崎港東扇島地区の基幹的広域防災拠点は、首都直下地震等が発生した際に陸路、海路、空路を活用した緊急物資の輸送拠点となると共に、緊急消防援助隊等の広域支援部隊の活動拠点となります。

そこで、港湾局は、例年、関東地方整備局や周辺企業等と合同で、緊急物資の輸送に重要な役割を果たす航路の啓開（障害物撤去）や陸・海・空からの緊急物資の輸送訓練を主とした「緊急確保航路啓開及び緊急物資輸送訓練」を実施し、防災対応能力の向上とさらなる連携強化を図るものです。



⑩所有船舶を活用した帰宅困難者輸送訓練

千鳥町再整備計画



千鳥町地区の公共埠頭は、大部分の施設が建設後40年以上が経過し、施設の老朽化や取扱貨物の変化に伴う埠頭機能の陳腐化により、埠頭の再整備が求められています。

このため、平成18年11月に「川崎港千鳥町再整備の基本的な考え方」、平成22年8月に「川崎港千鳥町再整備計画」を策定し、公共埠頭機能の再構築を図っています。

施設配置計画にあたっての視点

- (1) 東扇島との機能分担によるバラ貨物拠点の形成
- (2) 荷姿の同じ貨物を集約
- (3) 将来動向への対応

整備内容

- ①岸壁の改修
- ②上屋の改良
- ③上屋の撤去
- ④倉庫の再配置・高度化
- ⑤共同事務所等の高度化
- ⑥産業廃棄物処理施設用地の転換
- ⑦鉄道敷の一部撤去・改良
- ⑧ふ頭内道路の改良
- ⑨荷捌地の補修
- ⑩緑地の整備
- ⑪自然エネルギーの活用
- ⑫駐車場等の整備
- ⑬岸壁の耐震化
- ⑭緑地の整備

現在進行中の事業

- 倉庫の再配置・高度化
- 千鳥町7号岸壁（耐震）改修工事
- 千鳥町道路改良工事
- 荷捌地補修工事 等

倉庫の再配置・高度化の取組状況

【川崎臨港倉庫埠頭(株)との土地交換】

○平成26年11月に川崎臨港倉庫埠頭(株)の新施設が完成

川崎臨港倉庫埠頭(株)新倉庫・事務所



【JA全農所有地の取得及びJA全農たまご(株)との土地交換】

○平成26年10月にJA全農所有地を取得
○JA全農たまご(株)と土地交換に向け協議中

JA全農川崎連合農業倉庫跡地及びJA全農たまご(株)所有地



目指すべき施設配置計画



その他の施設整備事業



東扇島東公園などの市民利用状況等について



1. 東扇島東公園の概要

平成20年4月に開場した東扇島東公園(15.8ha)は、東京ドーム3個を超える広大なスペースを有する川崎市臨海部の潮風と緑の憩いの場として注目を集めています。



2. 東扇島東公園の状況

・大盛況の人工海浜



ロックコンサート
(BAYCAMP)



デュアスロングランプリ



・ゴールデンウィーク中のバーベキュー場



トライアスロン



3. 今後のイベント予定

- ・ロックコンサート(BAYCAMP)(9月8日～9月9日 来場者見込 3,000人)
- ・京浜ロック(10月 来場者見込 3,000人)
- ・川崎港トライアスロン大会 in 東扇島(10月 来場者見込 1,000人)
- ・川崎マリンエンデュロ(10月 来場者見込 1,000人)
- ・カーフマンジャパン・デュアスロン南関東ステージ東扇島大会(2月 来場者見込 1,000人)
- ・東扇島東公園(基幹的広域防災拠点)での訓練



川崎マリエンの利用促進について



平成27年度の取り組み予定

- 市民と港を結ぶ拠点として～
テニスコートの改修、ニュースポーツスクール、市民・近隣企業向けのバドミントン・テニス・茶道教室、クラシックカーの展示
- ビーチスポーツの拠点として～
各種ビーチバレーボール大会の開催、東京オリンピックを見据えた川崎ビーチスポーツクラブの支援、選手の育成、ビーチテニス等マリンスポーツの実施
- 川崎港の観光拠点として～
日本夜景遺産登録を活かした取り組みの実施、ライトアップの実施
ドラマ・CM撮影のさらなる誘致、水素システムの実証



日本夜景遺産となった
マリエン展望室からの夜景



2014 アジア大会ビーチバレーボール
日本代表決定戦

水素システムの実証



川崎みなと祭りの様子



ニュースポーツ教室の
開催(バドミントン)

今後のイベント等の予定

- ・全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会(8月7日～8月9日)
- ・ビーチバレーボール川崎市長杯(10月9日～10月11日)
- ・U-23 ビーチバレーボールトーナメント(11月21日～22日)
- ・川崎みなと祭り(10月10日～11日) 等



平成27年度の主な事業及び予算



1 港湾の防災・減災対策の推進

- (1) 予算額 2,603,657千円
- (2) 概要 千鳥町7号岸壁及び東扇島9号岸壁の耐震改修、防災用浮棧橋の整備、海岸保全施設の改良、緊急輸送路の段差抑制対策の実施等

2 コンテナターミナルの利用促進・活性化

- (1) 予算額 960,396千円
- (2) 概要 ポートセールスの推進、川崎港利用促進コンテナ貨物補助制度の実施、京浜三港の特例港湾運営会社の経営統合に向けた協議、コンテナターミナル内のヤード整備、コンテナ1号岸壁の延伸に向けた付帯施設の設計の実施等

3 臨港道路東扇島水江町線整備の推進

- (1) 予算額 3,488,600千円
- (2) 概要 臨港道路東扇島水江町線直轄工事の推進、東扇島内臨港道路の

拡幅工事等

4 千鳥町再整備の推進

- (1) 予算額 658,163千円
- (2) 概要 立体モータープールの整備、荷さばき地の舗装等

5 港湾施設の維持管理の推進

- (1) 予算額 254,880千円
- (2) 概要 港湾施設の点検及び補修工事等

6 魅力ある緑地・親水空間の形成

- (1) 予算額 259,515千円
- (2) 概要 東扇島東公園の維持管理、川崎マリエン内ビーチバレーコート維持整備、川崎港緑化基本計画の策定等

データ集①



○日本の港湾（区分）

国際戦略港湾	国際拠点港湾	重要港湾	地方港湾	5 6 条港湾	合計
5	18	102	808	61	994

・取扱貨物ランキング（2013年上位20港）

（単位：千トン）

順位	港名称	合計	輸出	輸入	内貿
1	名古屋	208,241	57,982	82,630	67,629
2	千葉	150,944	9,017	82,606	59,321
3	横浜	119,171	31,463	42,945	44,763
4	苫小牧	103,744	1,017	16,563	86,164
5	北九州	100,527	7,526	26,190	66,811
6	川崎	89,612	10,985	49,622	29,006
7	神戸	88,353	21,618	27,318	39,417
8	大阪	86,977	8,980	27,499	50,497
9	東京	86,032	13,147	35,348	37,538
10	水島	84,517	9,157	44,548	30,813
11	木更津	73,618	5,064	48,667	19,887
12	堺泉北	71,791	3,636	26,167	41,988
13	大分	70,003	7,656	36,598	25,750
14	鹿島	66,593	5,621	41,357	19,615
15	四日市	60,689	4,036	37,845	18,808
16	喜入	53,046	107	26,316	26,623
17	徳山下松	51,398	2,648	18,321	30,429
18	福山	42,517	7,582	26,386	8,549
19	和歌山下津	42,050	5,324	19,612	17,115
20	仙台塩釜	40,973	1,820	8,795	30,358

出典：港湾統計年報（国土交通省）

○川崎港の特色

・近隣港との取扱貨物比較

出典：各港統計データより作成

川崎港	化学工業品	46.6%	鉱産品	36.8%	金属機械工業品	9.6%	その他	7.0%
東京港	金属機械工業品	30.4%	特殊品	17.2%	化学工業品	14.5%	その他	37.9%
横浜港	金属機械工業品	33.4%	化学工業品	23.6%	鉱産品	19.9%	その他	23.2%
千葉港	化学工業品	52.4%	鉱産品	30.3%	金属機械工業品	12.2%	その他	5.0%

※凡例：【化学工業品】LNG、石油製品など、【鉱産品】石炭、鉄鉱石、原油など、【金属機械工業品】鉄鋼、完成自動車など、【特殊品】取合せ品、金属くず、廃土砂など

・貿易額

輸出額	1兆6,547億6百万円	対前年比	128.3%
輸入額	3兆1,521億49百万円	対前年比	123.8%

出典：川崎税関支署「川崎港貿易概況」

・取扱貨物の種類

LNG	17.7%	原油	16.9%	石油製品	14.0%	完成自動車	8.4%
石炭	8.1%	鉄鉱石	6.8%	その他	28.2%		

出典：川崎港統計年報（2013年）

・入港隻数・総トン数

（単位：隻・総トン）

	外航船	内航船	総計
隻数	3,008	22,439	25,447
総トン数	84,289,161	22,612,960	106,902,121

出典：川崎港統計年報（2013年）

データ集②



・ 出入貨物の割合

輸出	12.3%	輸入	55.4%	移出	18.2%	移入	14.1%
----	-------	----	-------	----	-------	----	-------

出典：川崎港統計年報（2013年）

・ 主な貨物の輸出先

品 種	2013年		主な輸出先		
	数量	構成比	1	2	3
完成自動車	4,747	43.2	アメリカ (57.7%)	アラブ首長国 (10.9%)	シンガポール (8.3%)
石 油 製 品	2,097	19.1	オーストラリア (45.2%)	中国(香港) (20.8%)	シンガポール (9.3%)
化 学 薬 品	1,440	13.1	中国 (56.6%)	韓国 (24.7%)	中国(台湾) (12.4%)
重 油	1,073	9.8	中国(香港) (66.0%)	シンガポール (21.3%)	中国 (12.0%)
金 属 く ず	825	7.5	韓国 (60.9%)	中国 (27.7%)	ベトナム (7.1%)
そ の 他	803	7.3	-	-	-
総 合 計	10,985	100.0	-	-	-

・ 主な貨物の輸入先

品 種	2013年		主な輸入先		
	数量	構成比	1	2	3
L N G	15,818	31.9	アラブ首長国 (48.4%)	ロシア (9.9%)	マレーシア (8.8%)
原 油	15,166	30.6	アラブ首長国 (30.0%)	カタール (26.1%)	サウジアラビア (15.9%)
鉄 鉱 石	6,058	12.2	オーストラリア (62.2%)	ブラジル (24.4%)	南アフリカ (7.6%)
石 炭	5,901	11.9	オーストラリア (66.4%)	ロシア (11.1%)	インドネシア (8.9%)
石 油 製 品	1,834	3.7	韓国 (42.7%)	インド (18.3%)	ロシア (8.9%)
そ の 他	4,843	9.8	-	-	-
総 合 計	49,622	100.0	-	-	-

・ 新車・中古車輸出台数

単位：万台

分類	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
新車		17	19.9	20	25.9	17.7	21.5	19.7	27.2	29.9
中古車		11.9	13.2	14.4	14.4	10.2	12.2	14.3	15.2	16.3
合計	32.2	28.9	33.1	34.4	40.3	27.8	33.8	34.1	42.5	46.3

出典：貿易統計より作成
※新車／中古車別の集計は平成17年以降

・ コンテナ貨物量

単位：TEU			
平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(目標値)
32,043	41,885	55,537	68,000

○川崎港の企業活動

・ 東扇島物流拠点地区

従業者数 合計2,868人

事 業 者	事業開始	延床面積
【第1期地区進出企業】		
株式会社ヨコロジ	平成21年7月	約16,000㎡
POSCO-JEPC株式会社	平成20年9月	約13,000㎡
株式会社ニチレイロジグループ本社	平成23年2月	約71,000㎡
山九株式会社	平成22年1月	約110,000㎡
【第2期地区進出企業】		
株式会社マルハニチロ物流	平成26年2月	約23,000㎡
山手冷蔵株式会社	平成25年5月	約20,000㎡
株式会社松岡	平成25年2月	約52,000㎡
日本郵便株式会社	平成25年5月	約55,000㎡
荒井商事株式会社	平成23年4月	約10,000㎡

・ 従業者数

※H24経済センサス

千鳥町	3,254人	東扇島	6,351人	合計	9,605人
-----	--------	-----	--------	----	--------